

会議等結果報告書

会議区分	会議 ・ 打合せ ・ 協議	文書番号	304
		決裁期日	平成22年2月25日
名称	上富良野町協働のまちづくり推進準備委員会（第15回）		
日時	平成22年2月24日（水） 午後6時38分～午後8時45分		
場所	保健福祉総合センター2階研修室		
出席者	委員9人 町民生活課事務局2人 合計11名		

内容

〔進行：町民生活課長〕

あいさつ

丸田会長： 年度末を控えたお忙しい中、15回目の会議への出席にお礼申し上げます。3月中旬に2回ほどの会議を行い、皆さんから意見をいただき指針をまとめていきたい。前2回、たたき台と大分市の例が示され議論してきた。どちらの形にするかを決めて進めるのでご協力をお願いしたい。

丸田会長： 自治基本条例の学習6回、ワークショップを5回、この議論は3回目となる。二つの作業を一緒に進めることは時間的に無理であり、事務局とも調整しどちらかにしていくことが必要となった。たたき台であれば言葉をわかりやすく見直していくことになり、大分市のようなものを作っていくのであれば時間がかかるので委員会の延長が必要となる。委員会の期間延長については町で了解されているので、意見をお願いしたい。

道内自治体で策定している指針の事例を回覧するので参考にしてほしい。事例にはたたき台と同じようなものが多い。大分市のようなものは作られていないようである。

松浦委員： 町民に配布するものは噛み砕いたわかりやすいものが必要。このたたき台をわかりやすく、しっかりしたものにしていくことがよいと思う。

岩田委員： 皆さんの意思を統一して、ゴールが決まればそれに向かっていくこととなる。それを決めていくことが大切。

松浦委員： 町民に配布するものは、たたき台を基本にしてわかりやすいものにしていくことでよいのではないか。

丸田委員： これまで期間を費やし、たたき台の議論になり、前回大分市の例が示された。あと1ヶ月しかなく二つの作業は難しい。たたき台をわかりやすいものにしていくこと、それを私たちの指針として町長に答申していくことでどうか。

自治推進班主幹： このような指針は都道府県や都市では策定しているが町村は少ない。インターネットに情報は公開されており、多くの情報を得ることができる。逆にどれを参考にしたら良いか迷うほど。先進の事例は細かく隅々まで説明しているものが多い。大分市のものはわかりやすいと思う。

松浦委員： 基本指針は作り、町民にはわかりやすいものを配布する。高齢者にもわかりやす

いよう活字を大きくするなど工夫したものが必要。

自治推進班主幹： 自治基本条例の冊子はあまり読まれていないと思う。

丸田委員： たたき台をしっかりと整理し、わかりやすいものにして、次の委員に託すことでよいか。

委員： 了承

議題

1 協働のまちづくり基本指針（素案）について

丸田会長： たたき台の読み合わせを進めるので、削除するもの、追加するものの意見を願いたい。

<6ページ>

佐川委員： たたき台を読み返してみて、3ページから7ページまで繰り返しの言葉が多く、見直しが必要と思い私なりの案を作成したので参考にさせていただきたい（コピーを配布し、委員から案文について説明）。この案文のあとに7ページの の一部「地方分権は～言われるように」を削除したものを追加してはどうか。

15人の委員でスタートしたが参加者の固定化が見られ、このような状況で進めていってよいかどうか。今後の委員会ではこのことを考えることが必要と思う、はじめの言葉は会長のことばとして書いたもので3ページの代わり。まちづくりからは4ページをまとめたものである。

岩田委員： 修正点などを皆さん用意してきているのでそれらを示してもらい、事務局で整理して修正していく流れでよいのでないか。

佐川委員： 3ページと4ページは重複しているところがある。

岩田委員： 佐川委員の文案も一つの意見とし、皆さんから意見を出してもらえればよいと思う。

自治推進班主幹： 言葉としてつながらなくても良いので、削除する言葉を示していただき、あとから修正するのは我々の仕事である。

- ・もう少しまとめられないかと思う。
- ・3ページからは佐川委員の文案で良い。
- ・言葉の重複があるので簡素化してはどうか。
- ・全体的に重複している表現があり、色々な事例を引用しているからではないか。
何もないところから書くことは難しく、先進事例を参考にしている。
- ・色々な事例が取れ、それを参考にしすぎるとまとめづらいと思う。
- ・1字、2字の削除ではなく全体的な見直しが必要。
- ・(1)の 、 、 、 はタイトルだけでその内容がイメージできると思うので説明はなくてもよい。
- ・佐川委員の文章に 、 、 を箇条書きで示してはどうか。
- ・6ページの「地域には～機能していました」はその後の文書と同じなので削除してもよい。
- ・行政マンの文章は説明が多い。
- ・使用している用語が硬い。「相互扶助」は「助け合いの心」の表現などがよいのでは。相互扶助の機能のカッコ書きの言葉ではイメージできないのでいけないと思う。このような表現が硬いと感じてしまうのでないか。
- ・背景はある程度書いた方がよいのでないか。
- ・(1)の 、 の説明はいらぬと思う。

- ・過去のことの表現が多い。書いてあることは概ね町民は理解していると思う。
- ・箇条書きはわかりやすい。
- ・難しい言葉については用語解説に出てくるので本文に説明はいらない。
- ・P6-8はいらないと思う。
- ・町民に見てもらえるもの、関心を持ってもらえるものを作ることがよい。
- ・室蘭市のものは目に付いた。印象が大切では。
- ・図やグラフは大きくしないと読み取れない。
- ・P7のグラフは大きくしたほうが良い。高齢者には見えない。
- ・写真はもっと大きくてもよい。

丸田会長： 多くの意見が出され、これらの意見をもとにたたき台を修正していただき、次回に示してほしい。

<9ページ>

- ・この項目はいらないと思う。
- ・図に示す必要はないと思う。

自治推進班主幹： 職員のプロジェクトを進めているが、使用している言葉は学者が使っているような言葉のようで難しいと指摘されている。

- ・指針のボリュームは大分市のもの程度でよいのでないか。

丸田会長： 9ページは削除とする。

<10ページから12ページ>

- ・この項目はなくてもよいと思う。
- ・図は別のものを考えてはどうか。
- ・P9-10は図で簡単に示すことができないか。
- ・事例をもとに説明した方がわかりやすい。
- ・金沢市の事例はわかりやすいと思う。
- ・簡単なものが良いと思う。
- ・指針を作るだけでなく協働する機会が必要。
- ・金沢市の事例は次回の案として参考にしてはどうか。
- ・11ページを基本に事例を引用して説明してはどうか。
- ・11ページと12ページは、分野別とパートナー別に示す必要があるのか。
- ・13ページの協働の形態にP9-12を包括できないか。
- ・12ページは説明しなくてもわかると思う。
- ・16ページに12ページのことが出てくる。
- ・12ページは削除しても良い。用語解説で説明しても良い。

丸田会長： 10ページから12ページは削除とする。

<13ページから15ページ>

- ・項目の頭だしは必要でないか。

丸田会長： 文章は要約し短い文書とする。

<16ページから17ページ>

- ・この項目は前に出てきたこと。
- ・18ページと重複している。
- ・「大切」はいらぬ。「～です」とする。
- ・「大切」の言葉は「期待されます」などやわらかい表現を。
- ・「役割」の言葉は「～においては」「～は」の表現にしてはどうか。仕事を押し付けられているイメージがある。
- ・自主性を促すイメージが大切。
- ・企業はいろんな場面で参加している。やってきているのにこの表現は残念。
- ・企業は様々でやりたくてもできないところもある。それを役割の言葉で言われることはどうか。
- ・「大切」は「期待されます」の表現ではどうか。
- ・「役割」は行政の言葉。難しく感じるのでやわらかい表現を。
- ・「～それぞれが役割を～役割について」を削除する。

丸田会長： タイトルなど表現を見直す。

<18ページ>

- ・言葉は難しい。
- ・効果の項目、表現は必要でないか。内容は精査が必要。

丸田会長： 内容を精査する。

<19ページ>

- ・「大切」を「期待されます」にする。

丸田会長： 言葉の表現を見直す。

<20ページ>

- ・否定的な表現はしないほうが良い。
- ・町のボランティアセンターは福祉の分野を中心に考えたもので、全てを網羅したセンターではない。有償ボランティアの検討も必要。ボランティアしている人の車代くらいは町で支援してはどうかと思う。
- ・東明住民会では活動していただいている方は保険に加入している。
- ・観光ボランティアは案内のほかに、駅周辺の草刈、ごみ拾いなどを行っており、昼食・車代相当分が出ている。
- ・町のボランティアセンターの状況では全てはできないと思う。
- ・「ボランティアセンター」の表現をそのまま使用すると全てにとらえられる。事務局長に相談して表現を検討する。
- ・「～多くの町民は～現状にあります」を削除する。
- ・「～今後は認識し」を削除する。
- ・「～その活動はまだ十分とは言えません」を削除する。
- ・「人材の不足」を削除する。

丸田会長： 本日はここまでとし、次回は21ページからとする。これまでのものを整理しまとめたものを次回示していただく。そのための期間も考え次回会議日程を調整したい。

2 その他

次期会議の日程を次のとおりとした。

- ・3月10日水曜日、午後6時30分から、保健福祉総合センターで開催する。

閉 会

[会議終了：20時45分]